

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

札幌市地域セミナー 報告書

2019（令和元）年8月28日（水）に、「スポーツ庁 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」札幌市地域セミナーが開催されました。当日は、今年度の推進校の先生方約80名に参加いただき、下記の要領で行われました。

【開催概要】

日時：2019（令和元）年8月28日（水）14時00分～16時45分

会場：ちえりあ 6階講堂

主催：札幌市教育委員会事務局、早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

参加者：約80名

プログラム：

14:00～14:05 開会挨拶

札幌市教育委員会 学校教育部 教育課程担当課

指導主事 末原 久史 氏

14:05～14:20 実践発表（札幌市立幌東小学校）

14:20～14:45 パラリンピック競技体験会 ゴールボール

札幌市教育委員会 学校教育部 教育課程担当課

指導主事 鈴木 圭一 氏

14:45～16:20 講演「地域・学校で出来るあすチャレ」

パラリンピックサポートセンター

「あすチャレ！スクール」事務局 高田 朋枝 氏

開会行事では、札幌市教育委員会の末原氏よりご挨拶がありました。末原氏からは、本事業の目的、本事業に参画するまでの経緯、今後の札幌市におけるオリンピック・パラリンピック教育の方向性等についてお話がありました。特に、オリンピック・パラリンピック教育の方向性に関しては、共同通信が全国障害学生支援センター等を通じて障害のある方々を対象に行った「東京パラリンピックの開催が障害の理解につながるか」という調査において、約4割の方々が「あまり思わない」もしくは「思わない」と回答したことを取り上げ、一過性のものにならないオリンピック・パラリンピック教育の実現を目指していきたい、と述べられました。

次に、昨年度の推進校であった札幌市立幌東小学校の方の実践発表がありました。総合的な学習の時間に「オリンピックを楽しもう」という单元名で行った取組を紹介されました。具体的には、「札幌オリンピックミュージアム」の参観、川端絵美氏（アルペンスキー）の講演、冬のスポーツ体験として行ったカーリング体験等の様々な取組を写真とともに紹介されました。



末原氏の挨拶

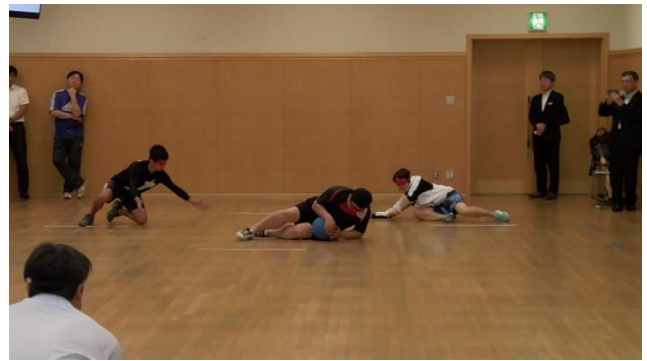


幌東小学校の実践発表

続いて、札幌市教育委員会の鈴木氏の指導のもと、ゴールボール体験を行いました。体験を希望される先生方を中心に2チームに分かれて、アイマスクを付けてゴールボール用の音の鳴るボールでゲームを行いました。体験された先生方からは、「アイマスクをすると耳に意識が集中する」、「音だけでは得点が入ってもわからないため不安になる」、「距離感がわからなくて怖い」といった感想をいただきました。また、見ていた先生方も、得点が入ったり、ボールをうまくキャッチしたりした際には、歓声をあげていました。



鈴木氏のルール説明



ゴールボールの体験

さらに、昨年度に引き続き、パラリンピックサポートセンターの高田氏（北京大会ゴールボール日本代表）による「あすチャレ！スクール」教員研修が行われました。高田氏は、パラリンピック教育の意義や目的、さらには障害に対する考え方（**impairment** と **disability**）等についてお話しされました。また、グループワークでは、「パラリンピアンを子どもたちにどのように紹介するか？」や、高田氏が差別されていると感じた経験を事例としてどのような行動をとることが望ましいか等についてディスカッションが行われました。



高田氏の講義



グループワーク